

「全国中学生人権作文コンテスト新潟県大会」入選

人権について思うこと

小須戸中一年 村山 邦 雄



新潟県地方事務局と新潟県人権擁護委員連合会の主催による「全国中学生人権作文コンテスト新潟県大会」に小須戸中学校一年生の村山邦雄君の作文が入選しました。今月号はその作文を紹介いたします。

僕は前から歩いてきた、背が僕とたいして違わない大人の人のを見て驚いてしまった。そして、指さしながら、そばにいる親に、「ほら、見てみた」と言った。それは、僕が小学校の一年か二年の時のことである。その時しばらく歩いてから親は、道の端に止まり、「みな同じ人間なのだから、指をさしたり、ふり返ったりしないこと」ときつこ言った。「あなたがあの人がどう思うか」と言うようなことを言われたような気がする。

その時、僕は自分では、相手の人をばかにしていた気持ちではなく、心からかわいそうだと思っていたのに、親はなぜ、こわい顔をしたのだろうか、不思議に思った。しかし、自分がもしそやされたらいやだという

ことだけは、はっきり答えたよ。うなずく。それ以来、僕は街ですれちがっても、前のよう指さしなかつた。日本国憲法第十四条に、「すべての国民は、法の下の平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されない」と記されている。障害を持つている人も、人間としての権利を持つているはずである。しかし、体の発達がおかれているなどの理由でばかにされているかもしれない。ばかにされていくと、白い目で見られたり、何らかの形で迫害を受けているのではないだろうか。同じ地球上で人間として命を持つ人間に、なぜこのよう

であらうか。残念でならない。人間は十人が十人同じではないが、平等で幸福になれる権利は持っているのである。毎日、朝親から起こされて、学校に通い、部活で疲れたなどと言っている僕なんかより、対自分、対社会、対家族の中で闘つて、いづも、ハンディを背負いながら生き続けている障害者の人達の方が、とても立派で素晴らしいと思う。

そして、気を付けなければならないのは、特別扱いをしない、自分達と同じであるということをお忘れはならないことだと思ふ。自然にあたりまえに努力するのでなく、体でそれを表現出来るくらいじゃないとだと思ふ。この科学の発達がめまぐるしい

社会の中で、人間の心は、発達よりも、むしろ退化して、いろいろな複雑な問題を発生させているのではなからうか。私達は何で人を押え付けたり、差別したり、仲間はずれにしたりしないか、みんなと協調していかなければならないかと思ふ。僕達中学生などの年代は科学の進歩に負けないよう自分自身を向上させていかなければならないと思ふ。僕は大きなことは出来ないが、祖母、両親、弟の五人の家族の中で、そして、クラス三十五人の中で、部活の中で自分のことだけを考へて行動するのではなく、相手の立場も考へて行動してゆきたい。そして、幼い時、指をさしたあの日のことを思い出し、見つめ直して、行動してゆきたいと思ふ。

サラリーマンの奥さんへ

国民年金の届出を

昭和六十一年四月から国民年金法が改正され、厚生年金などに加入しているサラリーマンに扶養されている奥さんも、第三号被保険者として国民年金に加入することとなりました。第三号被保険者については、国民年金の保険料を個別に納める必要はありませんが、届け出が必要で、届出はお済みですか。

第三号被保険者の届出は、原則として二年以上さかのぼる。社会保険事務所から 定例社会保険の 相談日が変わります 小須戸町商工会でおこなわれている健康保険、厚生年金、国民年金などに関する相談日が本年四月より毎月十二日に変更になります。相談時間は午前十時から午後二時までです。(当日が土曜、日曜、祝祭日の時は翌日になります)



六十五歳まで国民年金に

任意加入できます

新国民年金制度(昭和六十一年四月実施)では、六十歳から六十五歳になるまでは、希望すれば、国民年金に任意加入することが出来ます。

旧国民年金の保険料を納付した期間、または免除された期間は、すべて新制度に引き継がれますが、満額最高六二六、五〇〇円(六十二年四月から)の老

保険料の前納は

割引きとされます

未納や免除、またはカラ期間のある人は、六十歳から六十五歳になるまでの間任意加入し、保険料を納付することにより、満額年金に近づけることが出来ます。また、未納期間が多くあり、老齢基礎年金を受けるための必要最低期間(二十五年)が満たせなかった人も、その期間が五年以内であれば、任意加入して受給資格を得ることが出来るようになります。詳しいことは、役場福祉係へ相談してください。

このため、新年金制度では、未納や免除、またはカラ期間のある人は、六十歳から六十五歳になるまでの間任意加入し、保険料を納付することにより、満額年金に近づけることが出来ます。また、未納期間が多くあり、老齢基礎年金を受けるための必要最低期間(二十五年)が満たせなかった人も、その期間が五年以内であれば、任意加入して受給資格を得ることが出来るようになります。詳しいことは、役場福祉係へ相談してください。

63年4月から1年分の納付額比較

納付区分	毎月納付した場合(A)	前納した場合(B)	割引額(A)-(B)
定額保険料	7,700×12月 =92,400円	90,170円	2,230円
定額保険料+付加保険料	8,100×12月 =97,200円	94,850円	2,350円

障害児の皆さんが ひなまつりに 一人暮らし老人へプレゼント



3月3日のひなまつりに、一人暮らしのお年寄りやお世話になった方々へ手作りのプレゼントを送ろうと、障害児の皆さんが役場に集まり贈呈式を行いました。心のこもったプレゼントは手づくりのかごや造花、花びん、こよみ、枕カバーなどです。

そして、お年寄り一人一人への子供達の手紙が添えられており、その手紙を子供達を代表して矢代田小の高野淳君が読みあげました。これらの贈りものは町長を通じて一人暮らしのお年寄りのもとへその日のうちにとどけられました。

もうすぐたのしい 保育園

～小須戸保育園1日入園～



3月4日、小須戸保育園でこの春から新しく保育園へ入る子供達の一入園が行われました。

集団生活の経験の全くない子供達です。興味津々で一人でどこでもかけていく子、お母さんからはなれない子、色々です。保育士さん達による3びきの子ぶたの人形劇を見て大喜びでした。